

① 麻布大などのチームが米科学誌サイエンスに発表した内容で、犬と飼い主の双方とも体内で安心ホルモン「オキシトシン」が増加するのは、どんな場合ですか？

② 犬にオキシトシンの鼻から投与する実験について書いてあるところに線を引きましょう。

③ この記事を読んだ感想を書きましよう。

犬が飼い主を見つめ、飼い主が応じてな  
でたりすると、お互いの体内に安心を感じ  
るホルモン「オキシトシン」が増加すると、  
麻布大（相模原市）などのチームが17日付  
米科学誌サイエンスに発表した。人間の赤  
ちゃんと母親が絆を強める仕組みと同じと  
いう。



オキシトシン  
ホルモンの一種。  
人間では脳の視床下部  
などで作られ、母乳を  
分泌させたり、出産時  
に子宮を収縮させたり  
する働きがある。男性  
にもある。安心やリラ  
ックスを生んだり、信  
頼感の構築に関係した  
りするとされる。国内  
では、他人の気持ちを  
読み取るのが難しい  
「自閉症スペクトラム  
障害」の治療に有効か  
どうかを調べる臨床研  
究が実施されている。

## 互いに見つめて 安心ホルモン増加

# 犬と人 母子と同じ絆

見つめ合う  
犬と人(麻  
布大提供)

マウスの母子もオキシトシ  
ンで絆を強めることが知られる  
が、人と犬という異なる種間  
で確認されたのは初めてとい  
う。

犬と近縁のオオカミでも調べ  
たが、同様の反応はなかった。  
チームの永沢美保・自治医大博  
士研究員（動物行動学）は「犬  
と人の間の特別な絆は、古くか  
らの家畜化を通して進化したの  
だろう」と話している。

犬と飼い主30ペアに参加して  
もらい、実験室内で30分間、交  
流を観察した。犬種はラブラド  
ルレトリバーやトイプードルな  
ど十数種だった。

犬が飼い主を見つめる時間が  
長かったグループと短かったグ  
ループに分け、交流の前後で尿

に含まれるオキシトシンの量を  
比較した。

犬が飼い主を長時間見つめた  
8組では、犬と飼い主の双方で  
オキシトシン濃度が上昇。特に  
飼い主では、短いグループは濃  
度変化がなかったのに対し、長  
いグループは3・5倍ほどにも  
上がった。

犬にオキシトシンの鼻から投  
与する実験も行った。この場合  
は雌犬に限り、飼い主を見つめ  
る時間が増加、見つめられた飼  
い主の尿でオキシトシン濃度が  
上昇した。人に飼育されたオオ  
カミ11頭でも同じ実験を行った  
が、オオカミは飼い主にじゃれ  
るものの顔は見つめず、ともに  
オキシトシン濃度に変化はなか  
った。

## 麻布大など異なる種間で初確認



(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。